



## 2023 AUTOBACS SUPER GT Round7 AUTOPOLIS GT 450km RACE REPORT

カテゴリー :GT300  
カーナンバー :9  
エントラント名 :PACIFIC RACING TEAM  
マシン名 :PACIFIC ぶいすぽっ NAC AMG  
タイヤ :YOKOHAMA  
ドライバー :阪口良平、Liang Jiatong、川端伸太朗  
レースクイーン :Pacific Fairies  
開催日 :2023年10月14日-15日  
会場 :オートポリス (一周4.674 km)  
天候 :10月14日☀️(DRY) 10月15日☀️(DRY)  
気温 :10月14日 15℃ 10月15日 15℃  
路面温度 :10月14日 18℃ 10月15日 25℃  
参戦車両数 :GT500/15台 GT300/25台 合計40台  
Best Lap :1'47.751  
Q1(A Group) :11位/13台  
決勝 :23位/25台



## 事前情報

SUPER GT 2023シリーズではMercedes AMG GT3で参戦。

女性バーチャルYouTuberグループ「ぶいすぽっ！」とタイアップし、スポーティー&ポップなカラーリングで大きな注目が集まる。

Rd.1岡山戦でのクラッシュにより重大なダメージを負ってしまい、Rd.2富士戦は欠場となったが、車両入替でRd.3鈴鹿戦は見事復帰。Rd.6菅生では予選からタイヤの選択に苦戦し、なかなか追いつけきれない悔しい結果となった。

今回の舞台となるオートポリスは高低差52m、最大上り勾配7.2%、下り勾配10%とアップダウンが激しい上、様々なコーナーを有するテクニカルコースだ。今大会からサクセスウェイトが半減するため、重量に悩まされてきた上位チームに対してどこまで食らいつけるかがカギとなる。

## 公式予選：Q1 Aグループ



2023.10.14

15:00-15:10

Driver 阪口良平

天気 曇り

路面 DRY

Best Lap 1'44.865

LAP数 5Lap

■ベテランの走りでも上位層に肉薄するもアタックを決めきれずQ2進出ならず

GT300クラスの予選はシリーズランキングに基づきA組、B組に分けられる。PACIFIC ぶいすぽっ NAC AMGはA組に区分、13台のうち上位8台に入れば、Q2進出となる。

アタックを担当したのは阪口良平。オートポリス特有の連続コーナー区間や登り勾配をものともせず安定した走りを見せるも、13台中11番手とQ2への進出はならず。なお、このセッションでは13台中8台が1分44秒台を記録。コンマ何秒を競う極めてハイレベルな戦いであっただけに、悔しさの残るセッションとなった。



## 決勝



**2023.10.15 13:36-16:27**

**Driver** 阪口良平／Liang Jiatong／川端伸太郎

**天気** 晴れ

**路面** DRY

**Best Lap** 1'47.751

**LAP数** 85Lap(35Lap/13Lap/37Lap)

15日のオートポリス、決勝レーススタート前の気温は15度、路面温度は24度と、前戦菅生の決勝日と比較し気温・路面温度ともに10度近く低下。肌寒さを感じるドライコンディションとなった。

21番手スタートとなった9号車は、阪口良平が公式予選に続きステアリングを握る。序盤、前方のライバルマシンを次々に追い越しポジションを上げていく好走を展開。ルーティンピットをこなすチームが出始めた中でもプッシュを続け、35LAP目には4番手にまで上昇することとなった。

その後1度目のピットインを行いドライバーは川端伸太郎へ交代。5番手スタートでコースに復帰する。

ここからどこまでポジションアップとなるかに注目が集まったが、交代から間もなく42LAP目、第2ヘアピンにて他車のアクシデントが発生。FCYが導入されるが、数分後に解除されレースは再開。

わずか数分間ながらFCYでのスピードダウンによるタイヤの冷えが心配されたものの、川端の走りに影響はない。他車が続々と2度目のピットインを行うのを尻目に、レースも後半となった74LAP目には9位と入賞圏内を走行する。

2度目のピットインのタイミングを伺っていた9号車、79LAP目に車両をピットへ呼び戻し、Liangへドライバーを交代。第3ステントを託す。

20番手でコースに戻ったLiangは攻めの走りで他車に食らいつき一時ポジションアップをするも、車両トラブルに見舞われ順位を落とし、23番手でチェッカーとなった。

今シーズンの締めくくりとなる次戦の地はモビリティリゾートもてぎ。

ブレーキに厳しいサーキットでありながらもタイトなターンから短いコースを加速するため、エンジンのトルクが太いFIA GT3車両である9号車には最後の集大成の走りが期待される。

**COMMENT****エントランド代表 神野元樹**

「今回は公式練習や予選で苦戦し、決勝レースでもトラブルに見舞われましたが、なんとか走りきることができました。  
オートポリスの激しいテクニカルコースをものともせず、いつものような安定ぶりで流れを作ってくれた良平さんは流石の走りでした。  
また、川端とLiangもそれぞれのステントで自身の走りを見せてくれました。  
次戦はついに今シーズンの締めくくり、もてぎです。レースを重ねるごとにチームが一体となっているのを感じます。ドライバーとメカニック、そして車両が持ちうる最大のパフォーマンス能力を発揮し、集大成となる走りを皆様に見せるべく頑張りたいと思います。きっと現地はかなり冷え込むと思いますが、そんな肌寒さに負けない熱いご声援をどうぞよろしくお願いいたします。」

**阪口良平**

「今回も走り出しからドライブを担当しタイヤやブレーキ比較を行いました。  
予選では決勝に向けた仕様で挑み、Q1敗退となってしまいましたが目標の44秒台には入る事が出来たので可能性を感じる事ができました。  
決勝では坦々と走り続け、良い流れでしたが、最後にトラブルが出てしまいました。  
ですが前戦で起きたミッション関係の不具合は一切なく、エンジニア、メカニックに感謝しています。  
残るは最終戦のもてぎ！良いレースができるようにチームみんなで頑張ります。」

**Liang Jiatong**

「もっぱらテクニカル面での失敗が原因で、今回の決勝レースでの走りは波乱の内容となりました。  
しかし、今回もこうしてチーム全体で全力を尽くし頑張れたことで、僕はレースを学び、そして進歩し続けることができると考えています。  
改めてチームのみんなには感謝しています。」

**川端伸太郎**

「今大会も応援ありがとうございました。  
フリー走行から流れをつかめず、難しいレースとなりました。  
マシンなりに、そしてタイヤなりに、チームとして悪くないレベルにはあったと思いますが、JAF勢、開発タイヤ勢がそれ以上に速かったという印象を感じています。  
今回のレースもチーム一丸となって頑張れたと思います。  
また、私の参戦は今大会で最後となります。  
1年間応援ありがとうございました。  
最終戦も、チームの応援をよろしくお願いいたします！」

## PARTNERS



## SPONSORS

